

5月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和8年5月14日(木)

午前10時30分～

地域交流センター第3・4研修室

出席委員 職務代理 小山正文 委員 高野羊子
委員 坂口曜子 委員 小松小百合

出席職員 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 尾台弘枝
筑北中学校長 大鷹宏彰 教育長 加瀬浩明
次長 宮下信俊 係長 森山正一 主任 高野智弘

一 開会(宮下教育次長)

令和8年5月の麻績村教育委員会定例会を始めます。本日、総合教育会議の予定でありましたが、村長が出張のため来月に順延したいと思います。よろしく願いいたします。

二 教育長挨拶(加瀬教育長)

教育長: 次長から話がありました通り、通常であれば5月は総合教育会議であります。村長不在のため6月に移させていただきます。

昨日、停電がありましたが大きく影響はないようであります。今後自然災害以外にも様々なことが起きる時代であります。危機管理等に関してよろしく願い致します。

ゴールデンウィークが終了して子どもたちどうでしょうか。ゴールデンウィーク明けが心配される時期でありますのでよく見ていただきたいと思います。それでは5月の定例教育委員会を始めさせていただきます。

三 報告

1) 教育長報告

宮下次長: 報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

教育長: 冒頭に申しましたが、ゴールデンウィークが明けてそれぞれの所で本格的に動き出した時期かと思えます。子どもたちは体調を崩しやすい時期でもあります。しっかり様子を見ながら日常生活を送れるようお願い

します。

4月の定例会以降様々な会議が行われました。何れも年度の計画やそれぞれ会議の中で検討されるべき事項が出されていきました。通常の活動に戻ってきている状況であります。いろいろなことが計画されています。委員の皆様にもご協力をいただかなければならない部分もあります。行事を進めていく中で出てくるかもしれませんのでよろしくお願い致します。

全国学力学習状況調査も無事に実施されました。いつも話をしているところではありますが、平均点ではなく、それぞれ個々のこれからの学びに活かしていく対応をお願いします。

先週はおみっこ元気くらぶの開校式にご出席いただきありがとうございました。いよいよ本年度の活動が始まりました。学校生活では得られない、いろいろな行事等の中で、子どもたちが成長してもらえればと思います。また、信州大学の学生たちが良くやっています。そのような交流の中で学んでいってもらえればいいかと思います。

昨日、わくわくの村の和栗さんが来庁されました。今後小学校が中心でありましたが、保小中と活動が一緒にできないか相談がありました。いろいろな形で活動を拡げていきたいようであります。県の指導主事にも入っていただいたり、良い教育活動をしたりしています。今後校長先生方とも相談させていただきながら一緒に活動できるところや支援をしていただけたら等を進められたらと思いますのでよろしくお願い致します。一学期の間に要望を確認し、二学期ぐらいから何か活動に結びついていけばと思います。後ほど小松委員さんから概要を説明していただきたいと思います。

5月の市町村教委連絡会が21日になります。連絡事項等あれば委員の皆様にご連絡したいと思います。特段なければ6月の定例で話をしたいと思います。

5月の行事ではありますが、15日に聖高原を美しくする会でクリーンキャンペーンがあります。市野川から聖高原まで分散してゴミ拾いをします。

麻績学級がいよいよ始まります。年間10回予定されています。小中学校の主幹指導主事訪問が25日に予定されています。何かあれば遠慮なく声がけしてください。

小学校では運動会の準備が始まっているかと思います。こちらでも協力できることがあれば遠慮なくお願いします。以上です。

宮下次長： 続いて子育て支援コーディネーター報告に移ります。

2) 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

高野CO: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて保育園長報告に移ります。

塚原園長: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて小学校長報告に移ります。

尾台校長: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて中学校長報告に移ります。

大鷹校長: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: 2025年度の麻績図書館の報告になります。
(以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それぞれからご報告いただきましたが、委員の皆様からご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

3) 部活動地域展開検討委員会の状況報告

宮下次長: 部活動地域展開検討委員会の状況報告になります。検討委員会は昨年の11月から現在4回開催し検討してきている状況となります。

構成メンバーは、小中学校の校長先生ほか保護者代表として小中学校PTA会長それから、中学校の部活動顧問の先生と地域指導者に加えて中信教育事務所のスポーツ指導主事にご参加いただいて計10名で組織しています。指導主事から県や国の動向や近隣市町村の地域展開に関する取り組みなど情報提供いただく中で、麻績村にあった地域展開を検討しています。

具体的なスケジュールは令和9年度から運動部の休日の部活動を地域に展開していくことを目標としています。県教委では、令和7年度までの地域展開の状況を調査検証して、改めて平日の移行については方針を示していくそうです。

検討委員会で検討したものが、添付のアンケートになります。児童生

徒アンケートと保護者アンケートを昨年度実施しました。アンケートのまとめを報告させていただきます。

小学生のアンケート対象は4年生以上となります。回答数は15となります。内10名から活動を希望する回答がありました。部活に対して前向きな様子が見え、先ほどの大鷹校長先生の報告にもありましたが、1年生全員が部活に加入したということでもありますので、いままでの傾向からだいぶ違うのかと思われます。活動回数はあまり多くを望んでいないことから競技志向ではないことが推測されます。

続いて小学生保護者になります。回答数は23となります。集団競技を望む意見が多い一方で、スキーや剣道といった個人競技を望む声もありました。子どもたちのやりたい活動が気軽にできればいいという声があるように、保護者も競技志向ではないことがわかりました。傾向として子どもが楽しく取り組み、活動の中で成長してほしいという願いが見られました。平日の活動回数については週3、4回が最も多かったです。休日の活動については土日のどちらかを望む声が多かったです。不安なことについては、子どもたちの希望する活動ができるかということと、活動場所への移動に関しての不安が大きいことが確認できました。

次に、中学生になります。回答数は12となります。回答した生徒は、部活動にかかわらず、何らかの活動に参加していることがわかります。活動に参加する理由としては、コミュニケーションや心身の育成の場と捉えていることがわかります。平日の活動回数については、ちょうど良いと感じている生徒が多い一方、多いもしくは少ないと回答した生徒も同数ありました。休日活動については、ちょうど良いと回答した生徒と必要ないと回答した生徒も同数あったため、休日に関してはさらに検討していく必要があるアンケート結果となりました。合同チームについては、半数以上が良いと思うと回答がありました。送迎に関して何らかの補助をしてほしいとの記載もありました。不安については、希望する活動ができるかと、活動場所への移動手段への不安があることがわかりました。

最後に、中学生保護者になります。回答数は12となります。活動回数については、平日の活動回数についてちょうど良いと感じている一方で、少ないと回答した保護者も一定数ありました。休日の活動については意見の割れる結果となりました。不安については、アンケートの半数が活動場所への移動手段と希望する活動ができるかということになります。保護者も中学生と同様の不安を持っていることがわかりました。

最後に、小中学校ともに回答のあった児童生徒は何らかの活動を行っていました。また、中学校の進学にあたり、何かしらの活動に参加した

い意欲があることが見られました。活動回数については、平日の回数が週 3、4 回、休日は土日のいずれかを選択した回答が 6 割超となりました。小中学生の保護者とも休日の活動はやらなくてもよいという声も一定数あるため、さらに検討が必要であります。アンケートからはアスリートスポーツよりもエンジョイスportsを望んでいる傾向がうかがわれ、体育協会や公民館クラブなどと連携し、活動時間帯や活動場所にとらわれずスポーツ、文化活動の選択肢を広げることが当村の地域展開では現実的で持続性のあるものと推察します。今後も県教委の支援を受けながら、麻績村にあった方法を研究していきたいと思ひます。

教 育 長: 主事さんをお願いしているのは、麻績村と同じ規模の地域の資料や取り組み状況を教えてほしいと伝えてあります。人数が少ないですし、そもそもこの地域に指導者がいないこともあるのでお願いをしています。

四 報告・協議事項

*協議案件無し

五 その他

1) 各委員から

教 育 長: 委員の皆様から何かございましたらお願いします。

坂口委員: 小学校や中学校で折りたたみ式のヘルメットを用意してほしいと思ひます。夏の暑い時期に防災頭巾は大変です。ヘルメットは確実に頭を守ることができます。防災頭巾では不安な部分もあるので安心なものをお願いします。近隣の学校で用意されているということも聞きます。子どもの安全面で、いつ地震が来てもおかしくないのは是非導入していただきたいと思ひますので検討をお願いします。

高野委員: ニュースで最近やっているのは、地震以外にも落石や落雷や倒木、或いは獣の進出、いつ起きてもおかしくないことばかりで、危険な要素が沢山あります。ヘルメットの話が出ましたが是非検討してほしいなとも思ひました。

安曇野市では PTA に加入しないという話があります。少子化にもなってきましたし、お母さん方も仕事をされている状況の中で PTA 活動をすることが苦しくなってきました。十年前と比べても人数が半数以下になってきています。小中学校合同で進めていかなければならないと思ひま

す。保護者から改革していこうと声をあげることも大事なのですが、保護者だけではなく周りの皆さんも考えていかなければなりません。

小山職務代理: 4月24日の信毎ですが、10代の7%がSNSの病的使用という記事がありました。今の中学生は、スマホやタブレットなどで様々な情報を取得したり交流サイトを利用したりしています。避けて通れない問題かもしれません。海外では年齢制限がかかっているところもあるようです。日本はその動きはないようです。発信する方を規制すればいいのですが、そういうわけにもいかないのが、利用する側がそれなりに対応しなければなりません。情報が悪いというよりも使う側がそれなりに使わなければならぬと思います。リテラシーと言われますが、批判的に判断して有効に活用することのようです。情報を一歩踏みとどまって疑う姿勢を教育的に教えていかなければ、青少年の被害も増えて出てくるのではないかと思います。また皆さんと検討したいと思います。

大鷹校長: リテラシーについては講演会を毎年継続で実施しています。現実的に難しいのは、生成AIについても今や切り離す時代ではなくなっているから、正しく使える力と、共存していく力が必要かと思っています。原則的に、子どもたちが使っている責任は、全て保護者にあるという認識を持ってもらいながら進めていく必要があるかと思っています。

小松委員: わくわくの村の活動もだいぶ整ってきました。日向の支所の一角をベースと呼んで借りています。週一回火曜日にいろいろな人たちが集まって時間を共に過ごす活動をしています。そのベースを拠点に活動を行っていることと、畑仕事や田んぼなど自然の中に出て、郷土の風土を知りながら体験活動をしています。人もだいぶ集まってくるようになりました。活動自体は順調に進んできています。

私たちの今後の目標は、フリースクールとして認定を得て、学校にいけない子どもたちに対応できる機能を持たせられないかと考えています。全国的にフリースクールが増えてきていますが、わくわくの村では信州型の認定を得られるように目指していきたいと考えています。

信州型フリースクールの区分としては、居場所支援型と学び支援型の二種類があります。居場所支援型とは、学びの土台をつくって社会的な自立に向けた支援に重点を置くことを目的とします。私たちはこちらを目指していこうと思っています。安心した居場所づくりの認証を得ることを目指します。

信州型フリースクールの認証を受けるにあたっては、日頃の活動に加えて、学校との連携実績を積んでいくことが必要となります。具体的な

連携を考えたときに小中学校の総合学習の面でも連携が図れたらいいなど考えています。今後校長先生はじめ先生方と相談させていただきなからわくわくの活動を利用していただけたらと考えています。

教 育 長: わくわくの村で信州型フリースクールの認証を得るという大きな目標を持って動いています。そのために何が必要なのか検討しながら進めている状況であります。保小中それぞれどのようなニーズがあるのか知るところから進めたいということでもあります。1 学期中にどのようなニーズがあるかお聞きする機会を作って、2 学期に具体的なことが一つ二つ出てくればいいのかと思います。

非常に良い取り組みだと思っていますので、我々が間に入ってお互いに話ができる状況ができればいいと思います。教育委員会としては推奨して力になっていきたい立場で進めたいと思います。

2) 事務局から

教 育 長: 事務局より連絡事項お願いします。

宮下次長: 郡教育委員会連絡協議会が5月22日松本Mウィングで開催されます。教育長、職務代理と私で出席します。令和8年度麻績村に当番が移って、この協議会の研修会など進めていきたいと思っています。

筑北中学校で給食試食会が6月12日に予定されています。皆さんご都合よければ出席いただければと思います。報告について以上です。

3) 次回予定

次回の定例教育委員会の日程 6月9日(火) 午前9:30～

六 閉会

教 育 長: 以上をもちまして5月の定例教育委員会を閉じます。